

第 196 回 あしぎん景況調査

(2022 年 5 月実施)

株式会社 あしぎん総合研究所

第196回 あしぎん景況調査

「景況感はウクライナショック等により製造業、非製造業ともに大きく下振れし、
年度前半はマイナス圏で推移する見通し」

1. 調査結果のポイント

【製造業】

(1) 2022/1-3 月期実績・2022/4-6 月期見込み

・2022/1-3 月期の業況判断 DI 値は▲12 と、4 四半期ぶりのマイナス圏に転じた。半導体不足等サプライチェーンの停滞が長期化していることに加え、原材料価格の高騰による企業収益の悪化が、企業の景況感を下押しした。22/4-6 月期（業況判断 DI 値：▲6）見込みは、ロシア・ウクライナ情勢の悪化が新たな供給制約の要因に加わっているほか、資源価格の更なる上昇懸念等により、マイナス圏で推移している。

・経営上の問題点は、前回調査に続き「商品（原材料）仕入価格の上昇」が1位となった。2位が「需要減退」、3位が「生産設備の不足・老朽化」と続く。

(2) 2022/7-9 月期見通し

・2022/7-9 月期（業況判断 DI 値：▲1）見通しは、マイナス圏にとどまっているものの、改善基調が続いている。ただし、原材料価格の高騰のほか、地政学リスクの高まりや欧米における金融引き締め等外需の失速懸念が先行きの不透明感を強めており、楽観はできない。

【非製造業】

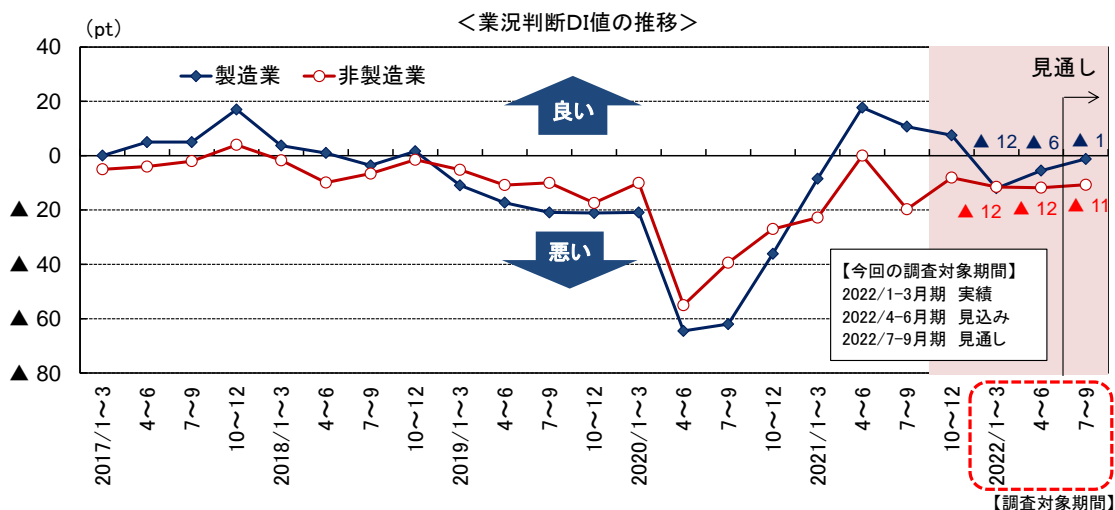
(1) 2022/1-3 月期実績・2022/4-6 月期見込み

・2022/1-3 月期の業況判断 DI 値は▲12 と、エネルギー価格や原材料価格の上昇等インフレ懸念に加え、オミクロン株の流行による経済活動の抑制が企業の景況感を下押しした。22/4-6 月期（同：▲12）見込みは、3 月下旬にまん延防止等重点措置が解除されたことで、経済活動の正常化が期待されているものの、改善は見られず、横ばいの推移となっている。

・経営上の問題点は、「商品（原材料）仕入価格の上昇」が1位となった。2位が「競争激化」、3位が「需要減退」と続く。

(2) 2022/7-9 月期見通し

・2022/7-9 月期（業況判断 DI 値：▲11）見通しは、前期比+1pt と改善度合いが鈍く、横ばいで推移している。新型コロナの感染動向に加え、物価上昇が实体经济に与える影響を注視する必要がある。



DI (Diffusion Indexの略) について

DIとは、有効回答企業数の合計を100%として「増加（好転）」とする企業の割合から「減少（悪化）」とする企業の割合を差し引いた数値である。例えば業況に関するDI値がプラスのときは、「業況が良い」と回答した企業割合が、「業況が悪い」と回答した企業割合を上回っていることを示し、景気の前向き性を判断する指標として利用されていることから「景気動向指数」といわれる。本調査では、DIの「値」がプラスのときは符号なし、マイナスのときは▲で符号を表示する。

2. 業界天気図

業況判断DI値の天気図で今期(2022/4-6月期見込み)を、前期(2022/1-3月期実績)と比べると、製造業は「金属製品」、「化学品」等6業種で改善、「精密機械」、「紙・パルプ」が悪化、非製造業は全ての業種が横ばい圏にて推移する見込み。来期(2022/7-9月期見通し)は、製造業が「鉄鋼・非鉄」、「輸送用機械」等5業種で改善、「繊維品」のみ悪化、非製造業では「サービス」が改善する見通し。

業界天気図

業種	実績	見込み	見通し	実績	変化方向	見込み	変化方向	見通し
	2022/1~3	2022/4~6	2022/7~9					
製造業	▲12	▲6	▲1					
飲・食料品	6	14	11					
繊維品	▲23	▲8	▲23					
木材・木製品	▲55	▲55	▲64					
紙・パルプ	▲33	▲47	▲33					
化学品	▲25	0	0					
プラスチック	▲19	▲12	▲8					
窯業・土石	▲9	0	▲5					
鉄鋼・非鉄	▲26	▲17	▲4					
金属製品	▲28	0	6					
一般機械	3	▲3	5					
電気機械	▲7	10	19					
輸送用機械	▲29	▲21	▲6					
精密機械	27	9	9					
その他	4	0	4					

業種	実績	見込み	見通し	実績	変化方向	見込み	変化方向	見通し
	2022/1~3	2022/4~6	2022/7~9					
非製造業	▲12	▲12	▲11					
建設	▲26	▲31	▲35					
卸売	▲10	▲3	▲4					
小売	▲21	▲22	▲23					
運輸	▲19	▲15	▲12					
サービス	8	4	11					

* 天気図の説明

(数字は業況判断DI値)

41以上	26~40	11~25	10~▲10	▲11~▲25	▲26~▲40	▲41以下

3. 調査要綱

- この調査は足利銀行の営業地域(栃木県、群馬県、茨城県、埼玉県の4県)の景況感を把握するため、定期的にアンケートを実施しているものである。
- 調査実施時期は2022年4月、調査対象期間は2022年1~3月期実績、2022年4~6月期実績見込み、2022年7~9月期見通しである。
- 調査対象企業数1,605に対し、有効回答企業数804社、有効回答率は50.1%であった。回答企業の業種別、所在地・規模別構成は以下のとおりである。

(1) 業種別構成 (単位:社、%)

	企 業 数	
		うち 中小企業
合 計	804 (100.0)	601 (100.0)
製 造 業	344 (42.8)	295 (49.1)
飲・食料品	36 (4.5)	29 (4.8)
織 維 品	13 (1.6)	13 (2.2)
木材・木製品	11 (1.4)	10 (1.7)
紙・パルプ	15 (1.9)	12 (2.0)
化 学 品	8 (1.0)	7 (1.2)
プラスチック	26 (3.2)	22 (3.7)
窯業・土石	22 (2.7)	20 (3.3)
鉄鋼・非鉄	23 (2.9)	18 (3.0)
金 属 製 品	36 (4.5)	32 (5.3)
一 般 機 械	38 (4.7)	34 (5.7)
電 気 機 械	32 (4.0)	29 (4.8)
輸送用機械	34 (4.2)	28 (4.7)
精 密 機 械	22 (2.7)	15 (2.5)
そ の 他	28 (3.5)	26 (4.3)
非 製 造 業	460 (57.2)	306 (50.9)
建 設	94 (11.7)	90 (15.0)
卸 売	98 (12.2)	69 (11.5)
小 売	78 (9.7)	19 (3.2)
運 輸	68 (8.5)	56 (9.3)
サ ー ビ ス	122 (15.2)	72 (12.0)

()内は構成比

(2) 所在地・規模別構成 (単位:社、%)

	合 計	うち 中小企業	栃木県内		栃木県外	
			うち 中小企業	うち 中小企業	うち 中小企業	
合 計	804 (100.0)	601 (74.8)	449 (55.8)	333 (41.4)	355 (44.2)	268 (33.3)
製 造 業	344 (100.0)	295 (85.8)	183 (53.2)	152 (44.2)	161 (46.8)	143 (41.6)
非製造業	460 (100.0)	306 (66.5)	266 (57.8)	181 (39.3)	194 (42.2)	125 (27.2)

()内は構成比

(注1) 企業規模は従業員数による。

製造、建設、運輸の3業種は300人以上、
卸売、サービスの2業種は100人以上、
小売は50人以上を大企業とし、それ未満
を中小企業とした。

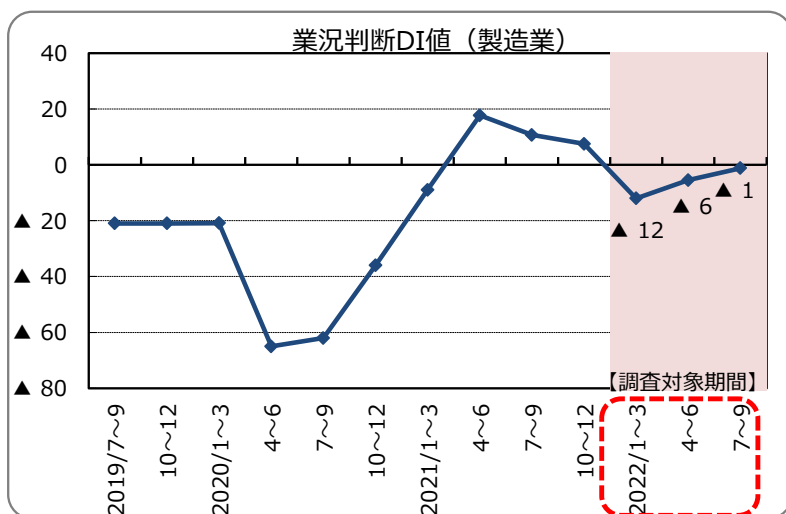
(注2) 表中および文中の「卸売業」、「小売業」、
「サービス業」に含まれる業種は次の通り。

- ・卸売業 ----- 繊維・衣服等、飲・食料品、建築
材料・鉱物・金属材料等、機械器
具、その他卸売業
- ・小売業 ----- 百貨店、総合スーパー、織物・衣
服・身の回り品、飲・食料品、自
動車・自転車、家具・じゅう器・
機械器具、その他の小売業
- ・サービス業 ----- 情報通信、不動産、飲食店、宿泊、
専門サービス、洗濯・理容、その
他の生活関連サービス業、娯楽、
廃棄物処理、自動車整備、機械等
修理、物品賃貸、広告、その他の
事業サービス、その他のサービス
業

4-1 業況判断DI値

(1) 製造業

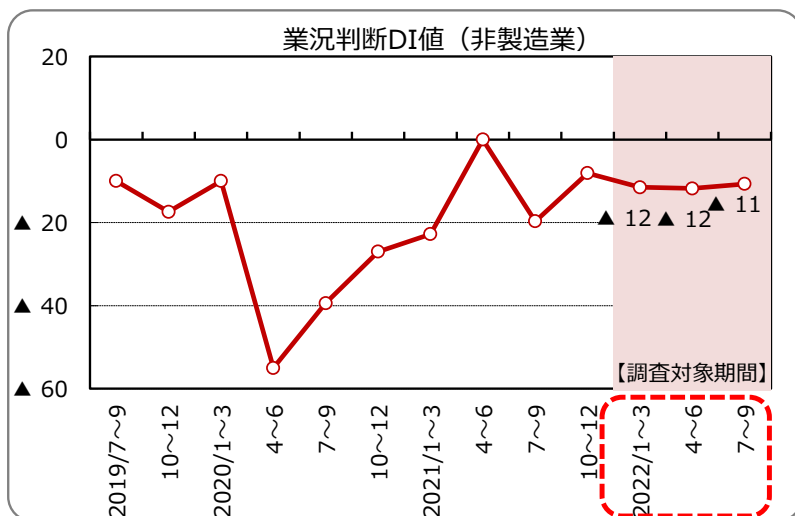
- ・ 今期は▲6と前期比6ポイント改善した。来期は▲1と今期比5ポイント改善する見通し。
- ・ 業種別にみると、今期は「飲・食料品」(前期6→今期14)、「電気機械」(前期▲7→今期10)などの業種で改善する見込み。
- ・ 来期の「輸送用機械」は、今期比15ポイント改善する見通し。ただし、ロシアが世界的な供給地となっているパラジウム等原材料の供給不足が、主要メーカーの生産調整に繋がる可能性があり、先行きは予断を許さない。
- ・ また、「木材・木製品」が▲64と大幅な悪化となっている。これは、世界有数の木材供給地となっているロシアからの禁輸措置が影響している可能性がある。林野庁の資料によると、我が国におけるロシアからの木材輸入額(2021年)は、木材輸入総額の5%となっている。ロシア産の木材は梁など住宅向け構造用集成材に多く用いられるため、今後、供給不足に陥る可能性が否定できない。



業況判断DI値		
業種別順位 (今期)		
業種	今期	来期
	2022/4~6	2022/7~9
飲・食料品	14	11
電気機械	10	19
精密機械	9	9
その他	0	4
窯業・土石	0	▲5
金属製品	0	6
化学品	0	0
一般機械	▲3	5
繊維品	▲8	▲23
プラスチック	▲12	▲8
鉄鋼・非鉄	▲17	▲4
輸送用機械	▲21	▲6
紙・パルプ	▲47	▲33
木材・木製品	▲55	▲64

(2) 非製造業

- ・ 今期が▲12、来期が▲11とほぼ同水準で推移する見通し。
- ・ 業種別にみると、今期は「サービス」を除く業種でマイナス水準となる見込み。
- ・ 来期も「サービス」はプラス圏を維持する見通し。まん延防止等重点措置の適用が解除されたことにより、宿泊、飲食等の業種で業況改善が期待される。他方、「小売」は今期とほぼ同水準であり、足元の物価上昇が消費者の節約志向を高めるなど、悪化懸念が高まっている。
- ・ 来期の「建設」は今期より4ポイント悪化する見通し。原材料価格の高騰や為替環境等が建設資材価格の上昇に繋がっていることに加え、顧客の投資計画の見直しを危惧しているとみられる。

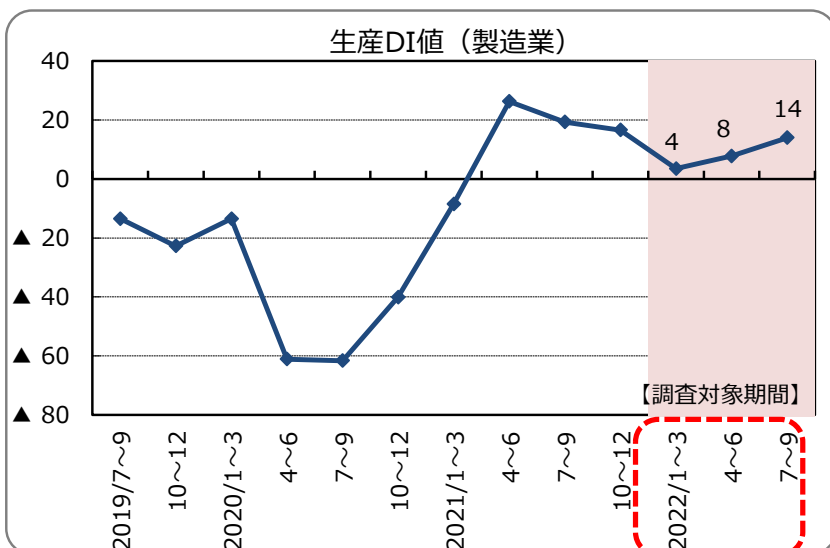


業況判断DI値		
業種別順位 (今期)		
業種	今期	来期
	2022/4~6	2022/7~9
サービス	4	11
卸売	▲3	▲4
運輸	▲15	▲12
小売	▲22	▲23
建設	▲31	▲35

4-2 生産・売上DI値

(1) 製造業

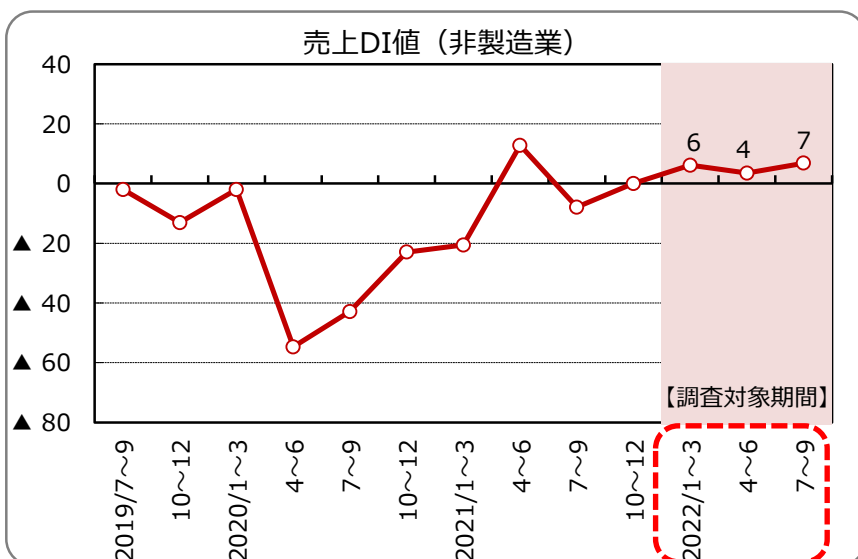
- ・ 今期は8と前期比4ポイント改善した。来期は14と今期比6ポイント改善する見通し。
- ・ 業種別にみると、今期は「輸送用機械」が▲27となっている。半導体不足等サプライチェーンの停滞が自動車の減産に繋がっている。他方、「精密機械」は36と大幅なプラス圏となっている。これは、医療機器等の需要復調が影響している。新型コロナの感染拡大が落ち着きつつあることから、医療機関における一般患者数の増加に併せた生産増加に繋がっている可能性。
- ・ 来期は「飲・食料品」が44と今期より8ポイント改善する見通し。観光需要の増加期待から、業務用向け等の増産に繋がっている可能性。



業種別順位 (今期)		
業種	今期	来期
	2022/4~6	2022/7~9
精密機械	36	14
飲・食料品	36	44
電気機械	22	32
その他	21	21
金属製品	14	22
化学品	13	▲25
一般機械	11	29
プラスチック	4	8
窯業・土石	0	9
鉄鋼・非鉄	▲4	17
繊維品	▲8	▲25
輸送用機械	▲27	▲3
紙・パルプ	▲27	▲20
木材・木製品	▲27	▲46

(2) 非製造業

- ・ 今期は4と前期比2ポイント悪化した。来期は7と今期比3ポイント改善する見通し。
- ・ 業種別にみると、今期は「建設」が唯一マイナス圏となる見通し。建設資材高騰による建設費用の増加や地政学リスクの高まりが、顧客企業の投資計画の見直しに繋がっている可能性がある。
- ・ 来期は「サービス」が21と今期より5ポイント改善する見通し。新型コロナの感染動向に左右される公算が大きい。夏休み等観光需要の復調が期待される。

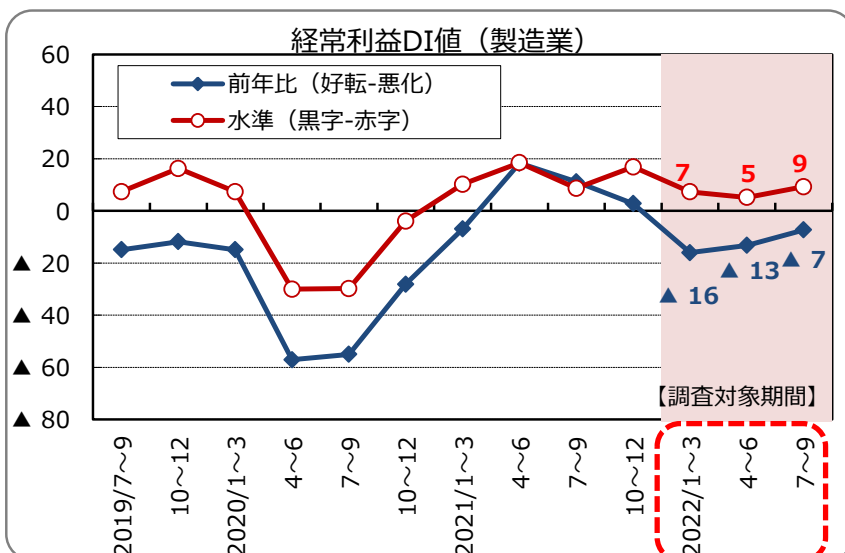


業種別順位 (今期)		
業種	今期	来期
	2022/4~6	2022/7~9
サービス	16	21
運輸	12	10
小売	8	13
卸売	6	9
建設	▲26	▲22

4-3 経常利益DI値

(1) 製造業

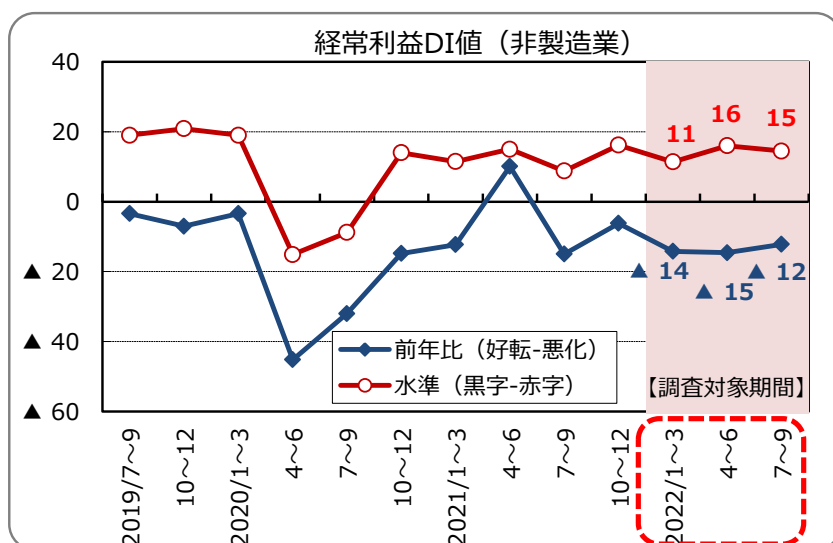
- 前年比増減DI値をみると、今期は▲13と前期比3ポイント改善した。来期は▲7と今期比6ポイント改善する見通し。
- 業種別にみると、今期は供給制約の影響を受ける「輸送用機械」やナフサ等原材料価格の高騰の影響を受ける「紙・パルプ」を中心に11業種でマイナスとなる見込み。来期は、ロシア産木材の供給懸念が高まる「木材・木製品」や石炭価格の高騰が続く「窯業・土石」等を中心に9業種でマイナスとなる見通し。
- 利益水準DI値(黒字企業割合-赤字企業割合)をみると、今期は5と前期比2ポイント悪化した。来期は9と今期比4ポイント改善する見通し。



業種	業種別順位 (今期)	
	今期 2022/4~6	来期 2022/7~9
精密機械	18	18
飲・食料品	0	8
化学品	0	0
電気機械	▲3	16
その他	▲11	▲4
鉄鋼・非鉄	▲13	▲17
一般機械	▲13	3
窯業・土石	▲18	▲32
プラスチック	▲19	▲27
金属製品	▲20	▲6
繊維品	▲23	▲15
輸送用機械	▲24	▲18
木材・木製品	▲36	▲55
紙・パルプ	▲40	▲20

(2) 非製造業

- 前年比増減DI値をみると、今期は▲15と前期同水準となった。来期は▲12と今期比3ポイント改善する見通し。
- 業種別にみると、今期は「運輸業」が▲34と大幅なマイナスとなっている。来期は▲24と今期比10ポイント改善するものの、原油高が収益の下振れにつながるなど、悪化企業超過となる見通し。来期の「卸売」は今期より4ポイント改善し、好転企業超過となる見通し。来期の「サービス」は今期より2ポイント改善する見通し。ただし、新型コロナウイルスの感染動向には注意を要する。
- 利益水準DI値をみると、今期は16と前期比5ポイント改善した。来期は15と今期同水準となる見通し。

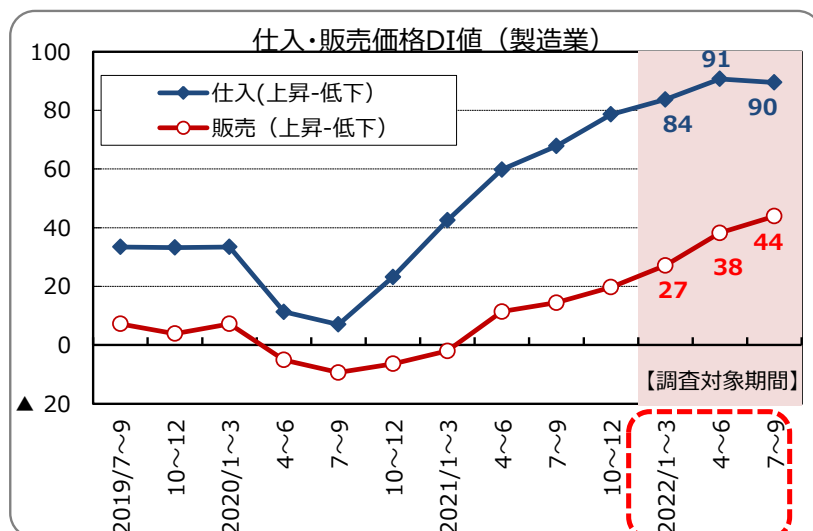


業種	業種別順位 (今期)	
	今期 2022/4~6	来期 2022/7~9
卸売	0	4
サービス	▲2	0
小売	▲18	▲18
建設	▲30	▲33
運輸	▲34	▲24

4-4 仕入・販売価格 DI 値

(1) 製造業

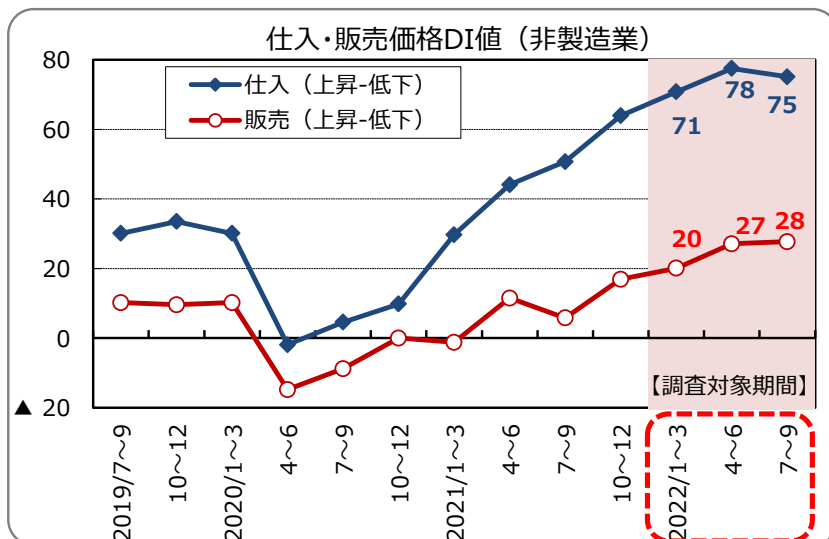
- 仕入価格 DI 値をみると、今期は 91 と前期比 7 ポイント上昇した。来期は 90 と今期同水準となる見通し。業種別にみると、ナフサなど原油高の影響をうける「紙・パルプ」(今期 100→来期 100)等の業種を中心に高水準にある。また、ウクライナ侵攻後、鋼材の原料となる鉄鉱石や石炭の価格上昇を背景に、「輸送用機械」(今期 97→来期 97)や「鉄鋼・非鉄」(今期 96→来期 96)等の業種で、DI 値が極めて高い水準で高止まりしている。
- 販売価格 DI 値をみると、今期は 38 と前期比 11 ポイント上昇した。来期は 44 と今期より更に 6 ポイント上回る見通し。原材料価格の高騰により、多くの業種で価格転嫁の動きが広がるものの、仕入価格 DI 値との差は依然大きい。企業収益の下振れには注意を要する。



業種	今期	来期
	2022/4~6	2022/7~9
紙・パルプ	100	100
輸送用機械	97	97
その他	96	96
鉄鋼・非鉄	96	96
金属製品	94	89
プラスチック	92	92
飲・食料品	92	92
窯業・土石	91	100
一般機械	90	87
化学品	88	88
精密機械	86	91
繊維品	85	69
電気機械	81	81
木材・木製品	64	46

(2) 非製造業

- 仕入価格 DI 値をみると、今期は 78 と前期比 7 ポイント上昇した。来期は 75 と今期より 3 ポイント下回る見通し。業種別にみると、「運輸」(今期 97→来期 92)では、軽油価格の高騰が影響しているとみられる。「建設」(今期 87→来期 85)では、鉄や木材等建設資材価格の上昇により、DI 値が高止まりしている。
- 販売価格 DI 値をみると、今期は 27 と前期比 7 ポイント上昇した。来期は 28 と今期より 1 ポイント上回る見通し。業種別にみると、BtoB の「卸売」を中心に販売価格への転嫁が進んでいる。また、「小売」や「サービス」でも徐々に値上げを行っていると思われる。コロナ禍からの景気回復が鈍い中、物価上昇が個人消費に与える影響を注視する必要がある。



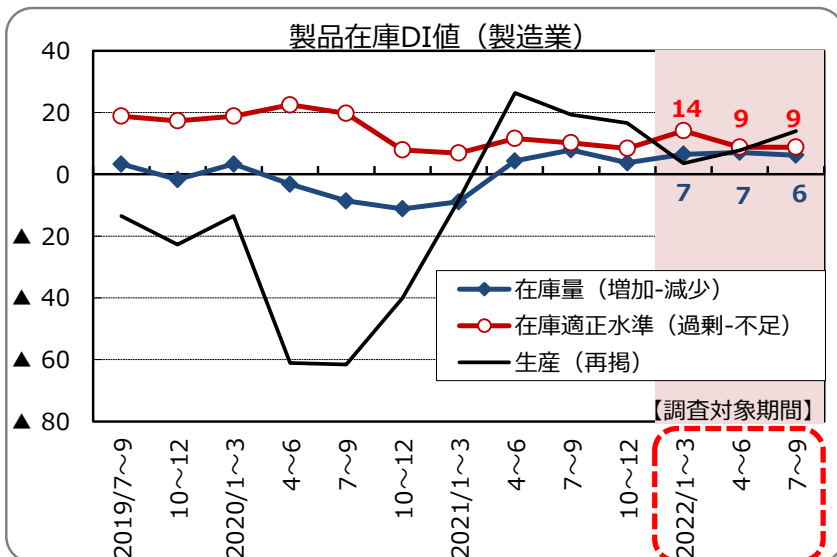
業種	今期	来期
	2022/4~6	2022/7~9
運輸	97	92
建設	87	85
卸売	78	75
サービス	68	65
小売	64	64

業種	今期	来期
	2022/4~6	2022/7~9
卸売	52	47
小売	37	35
運輸	21	25
建設	16	19
サービス	13	16

4-5 在庫量と在庫水準 DI 値

(1) 製造業

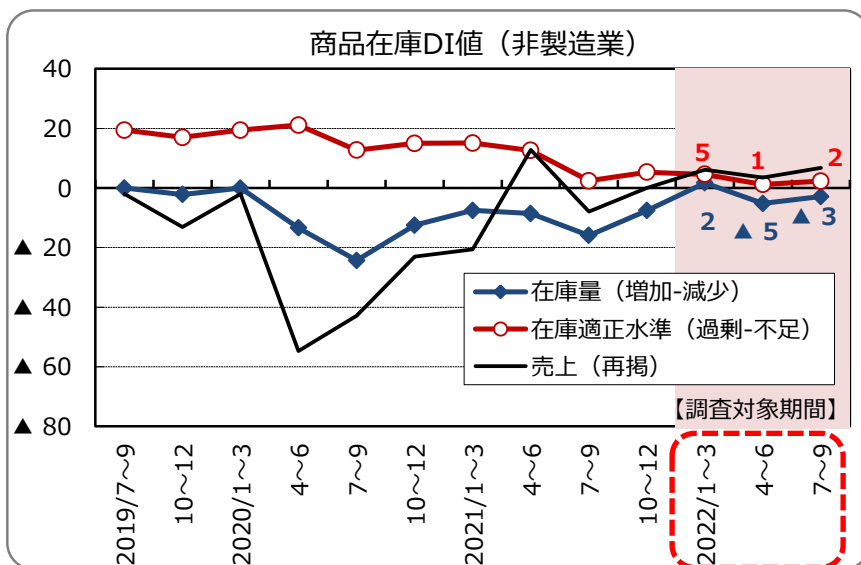
- 在庫量 DI 値(増加-減少)をみると、今期が7、来期が6 とほぼ同水準で推移する見通し。
- 在庫適正水準 DI 値(過剰-不足)をみると、今期は9と前期比5ポイント低下した。来期も同水準の9となる見通し。22/1-3 月期から7-9 月期にかけて生産増加を見通す中、サプライチェーンの停滞が生産下押しとなる可能性に留意する必要がある。



業種	今期	来期
	2022/4~6	2022/7~9
木材・木製品	36	27
紙・パルプ	33	33
繊維品	25	33
その他	19	19
精密機械	18	9
金属製品	17	14
電気機械	16	16
プラスチック	15	4
化学品	13	13
一般機械	8	8
輸送用機械	6	6
飲・食料品	▲ 11	▲ 3
鉄鋼・非鉄	▲ 13	▲ 9
窯業・土石	▲ 24	▲ 14

(2) 非製造業

- 在庫量 DI 値(増加-減少)をみると、今期は▲5と前期比7ポイント低下した。来期は▲3と今期を2ポイント上回る見通し。
- 在庫適正水準比 DI 値(過剰-不足)をみると、今期は1と前期比4ポイント低下した。来期は2と今期同水準となる見通し。業種別にみると、「小売」(今期▲11→来期▲8)はマイナス圏の推移となっている。経済活動が再開され、売上増加を見通す中、半導体不足等を背景とした自動車や家電製品の不足懸念が影響している可能性がある。

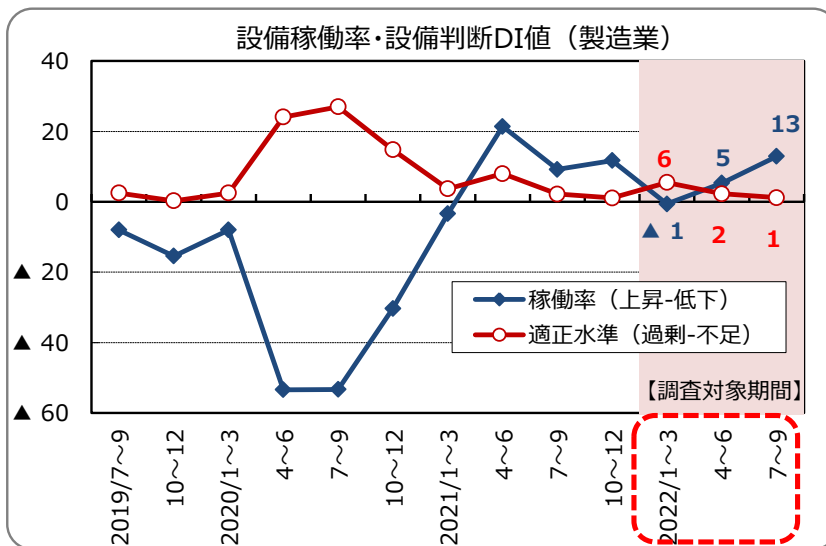


業種	今期	来期
	2022/4~6	2022/7~9
卸売	10	10
小売	▲ 11	▲ 8

4-6 設備稼働率・設備判断DI値

(1) 製造業

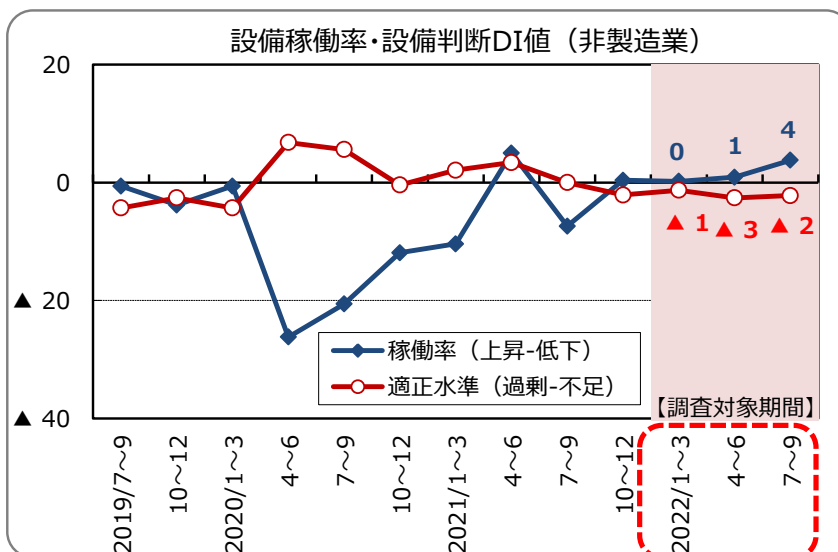
- 設備稼働率DI値をみると、今期は5と前期比6ポイント上昇した。来期は13と今期より8ポイント上回る見通し。中国上海のロックダウン等サプライチェーンの停滞に注意を要するものの、挽回生産が期待される。
- 設備適正水準DI値(設備過剰-設備不足)をみると、今期は2と前期比4ポイント低下した。来期は今期とほぼ同水準となる見通し。業種別にみると、「輸送用機械」(今期29→来期29)は設備の過剰感が強い状態が続く見通し。自動車の減産懸念が高まっている。



生産設備判断(適正水準)DI値		
業種別順位(今期)		
業種	今期	来期
	2022/4~6	2022/7~9
輸送用機械	29	29
金属製品	14	11
木材・木製品	9	0
プラスチック	8	0
繊維品	8	23
紙・パルプ	7	7
その他	4	7
電気機械	3	0
化学品	0	▲25
一般機械	▲3	▲3
鉄鋼・非鉄	▲4	▲9
精密機械	▲9	▲9
飲・食料品	▲11	▲14
窯業・土石	▲27	▲18

(2) 非製造業

- 設備稼働率DI値をみると、今期は1と前期同水準となった。来期は4と今期より3ポイント上回る見通し。
- 設備適正水準DI値(設備過剰-設備不足)をみると、今期は▲3と前期比2ポイント下回った。来期は▲2と今期同水準となる見通し。業種別にみると、来期は「サービス」が▲4と不足感が強まる見通し。経済活動正常化により、宿泊や飲食などの業種で需要回復が期待される。

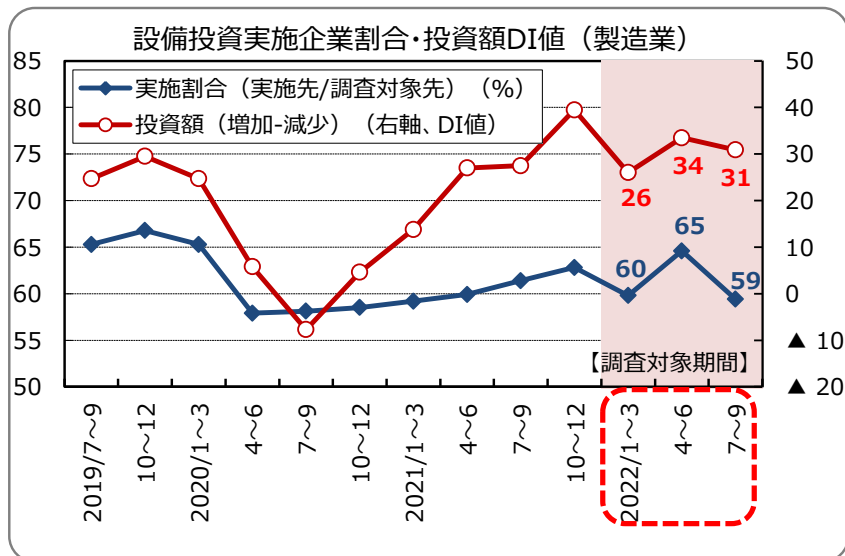


営業設備判断(適正水準)DI値		
業種別順位(今期)		
業種	今期	来期
	2022/4~6	2022/7~9
運輸	0	2
建設	▲1	▲3
サービス	▲3	▲4
小売	▲4	▲3
卸売	▲4	▲1

4-7 設備投資DI値

(1) 製造業

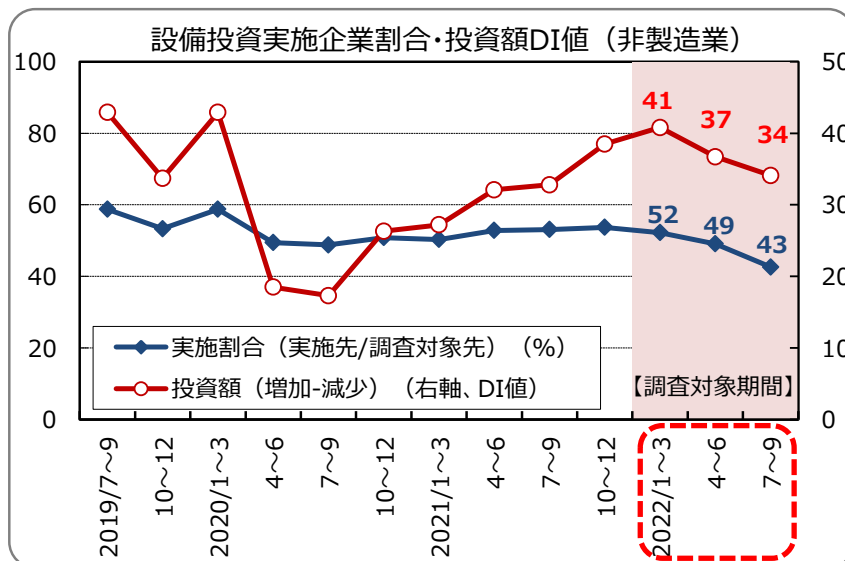
- 実施企業割合をみると、今期は65%と前期比5ポイント上昇した。来期は59%と今期より6ポイント下回る見通し。
- 投資額DI値をみると、今期は34と前期比8ポイント上昇した。来期は31と今期より3ポイント下回る見通し。業種別に見ると、需要が堅調な「精密機械」(今期54→来期69)等で投資額が増加する見通し。
- 投資額DI値は、21年7-9月期を底として、投資額増加企業超過となっており、設備投資需要に底堅さが見られる。ただし、建設資材高騰による建設費用の増加、地政学リスクの高まりや欧米を中心とした金融正常化による外需の失速など、先行きの不確実性は高い。投資マインドの下振れには注意を要する。



業種	業種別順位（今期）	
	今期 2022/4~6	来期 2022/7~9
その他	62	33
精密機械	54	69
鉄鋼・非鉄	42	33
繊維品	40	0
金属製品	40	39
輸送用機械	37	31
電気機械	36	31
化学品	33	33
飲・食料品	23	20
一般機械	20	31
窯業・土石	20	9
プラスチック	18	14
木材・木製品	0	100
紙・パルプ	▲33	17

(2) 非製造業

- 実施企業割合をみると、今期は49%と前期比3ポイント低下した。来期は43%と今期より6ポイント下回る見通し。
- 投資額DI値をみると、今期は37と前期比4ポイント低下した。来期は34と今期より3ポイント下回る見通し。業種別にみると、「サービス」は今期が51と、経済活動正常化による需要回復期待から投資額増加に繋がっている可能性がある。ただし、来期は38と今期比13ポイント下回る見通しとなっており、新型コロナウイルスの感染再拡大への懸念が残る中、投資額増加に慎重な企業が多いとみられる。

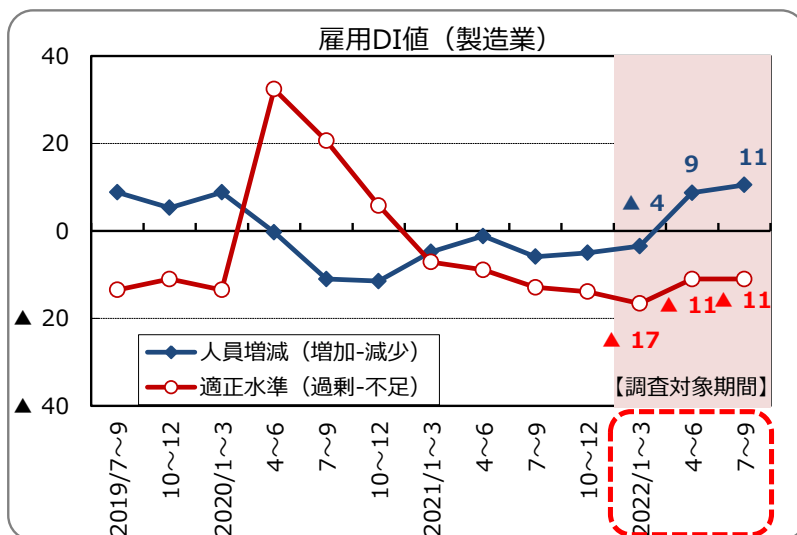


業種	業種別順位（今期）	
	今期 2022/4~6	来期 2022/7~9
サービス	51	38
卸売	50	48
建設	39	32
小売	21	39
運輸	17	17

4-8 雇用人員DI値

(1) 製造業

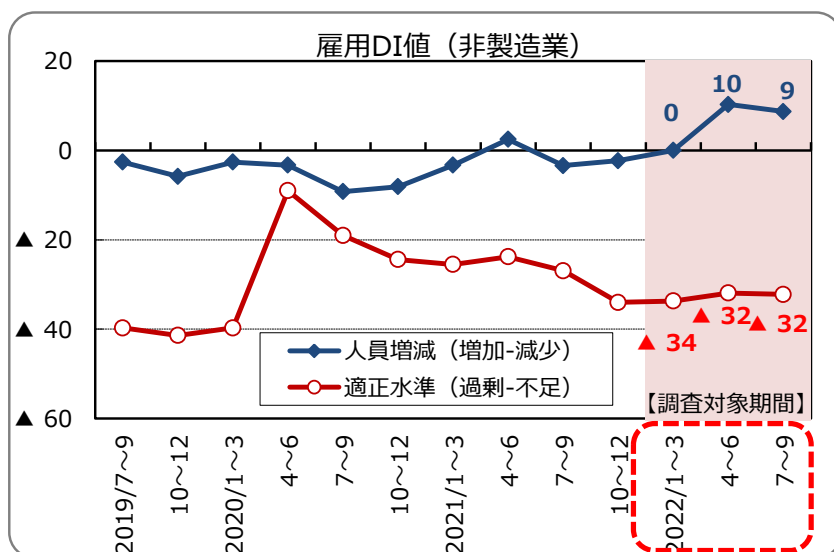
- ・ 人員増減DI値をみると、今期は9と前期比13ポイント上昇した。来期は11と今期より更に2ポイント上回る見通し。
- ・ 適正水準DI値(人員過剰-人員不足)をみると、今期は▲11と前期比6ポイント上昇した。来期は▲11と今期と同水準となる見通し。業種別にみると、木材の供給懸念が高まる「木材・木製品」(今期9→来期27)は人手の過剰感が強まる見通し。他方、医療器具など需要が堅調な「精密機械」(今期▲32→来期▲23)では人手の不足感が強い状態が続く見通し。



雇用人員適正水準DI値		
業種別順位(今期)		
業種	今期	来期
	2022/4~6	2022/7~9
金属製品	17	6
木材・木製品	9	27
輸送用機械	▲3	0
電気機械	▲3	0
紙・パルプ	▲7	0
その他	▲11	▲7
化学品	▲13	▲13
鉄鋼・非鉄	▲13	▲22
繊維品	▲15	▲23
飲・食料品	▲17	▲25
一般機械	▲18	▲11
窯業・土石	▲23	▲18
プラスチック	▲31	▲39
精密機械	▲32	▲23

(2) 非製造業

- ・ 人員増減DI値をみると、今期は10と前期比10ポイント上昇した。来期は9と今期同水準となる見通し。
- ・ 適正水準DI値(人員過剰-人員不足)をみると、今期は▲32と前期比2ポイント上昇した。来期も▲32と同水準となる見通し。業種別にみると、「建設」や「運輸」など慢性的な人手不足が続く業種では、不足感が強まる見通し。経済活動正常化に伴い、全ての業種でDI値がマイナスとなっており、依然として人手の不足感が強いと感じている企業が多い。

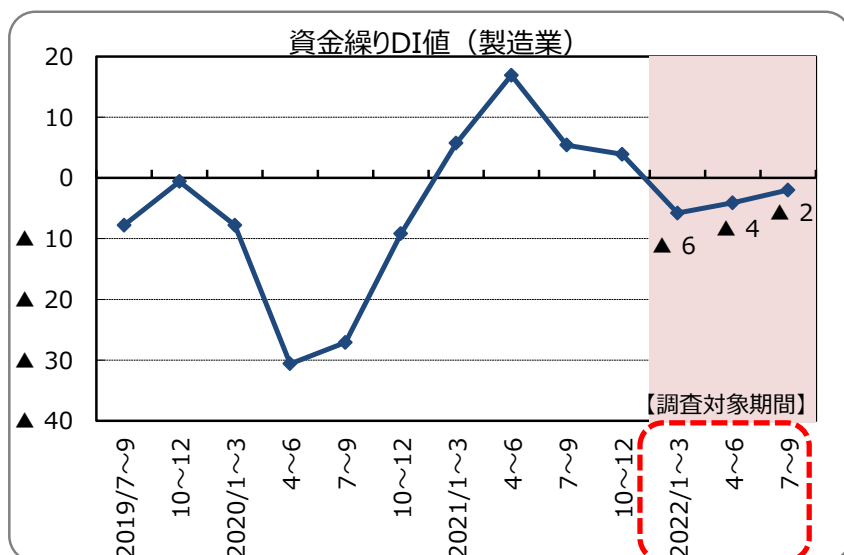


雇用人員適正水準DI値		
業種別順位(今期)		
業種	今期	来期
	2022/4~6	2022/7~9
卸売	▲16	▲17
小売	▲27	▲23
サービス	▲34	▲34
建設	▲36	▲38
運輸	▲53	▲54

4-9 資金繰りDI値

(1) 製造業

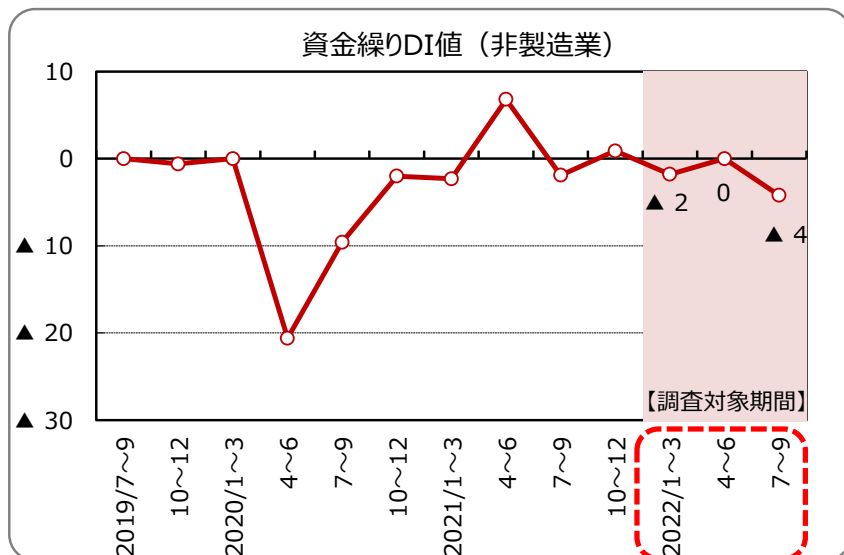
- 資金繰りDI値(好転-悪化)をみると、今期は▲4と前期比2ポイント改善した。来期は▲2と今期より2ポイント改善する見通し。
- 業種別にみると、「木材・木製品」(今期▲46→来期▲36)や「窯業・土石」(今期▲5→来期▲18)などの業種で資金繰りが悪化する見通し。仕入価格が高騰し、企業収益の下振れ懸念が高まる中、先行きを注視する必要がある。



業種	今期	来期
	2022/4~6	2022/7~9
電気機械	19	16
精密機械	14	14
飲・食料品	14	11
化学品	13	13
繊維品	8	▲8
プラスチック	4	4
金属製品	▲3	6
窯業・土石	▲5	▲18
その他	▲11	▲11
紙・パルプ	▲13	7
一般機械	▲16	0
鉄鋼・非鉄	▲17	▲13
輸送用機械	▲27	▲27
木材・木製品	▲46	▲36

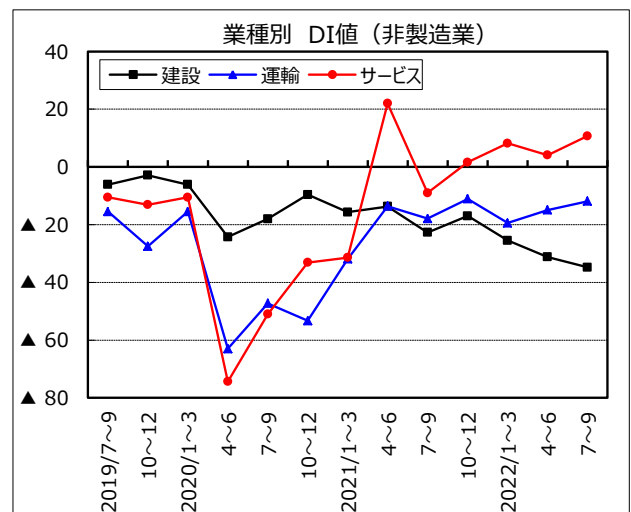
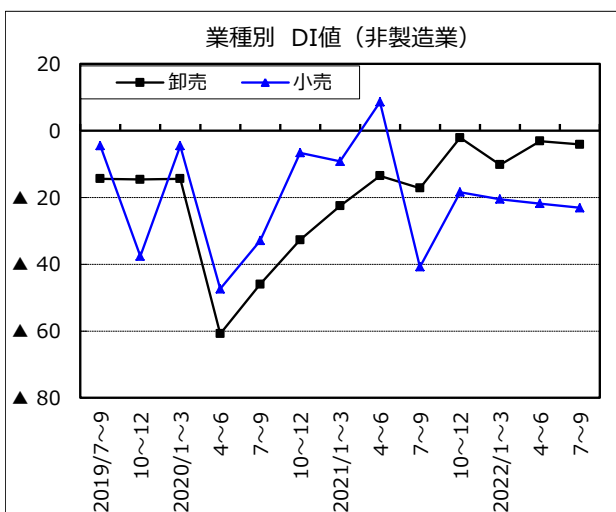
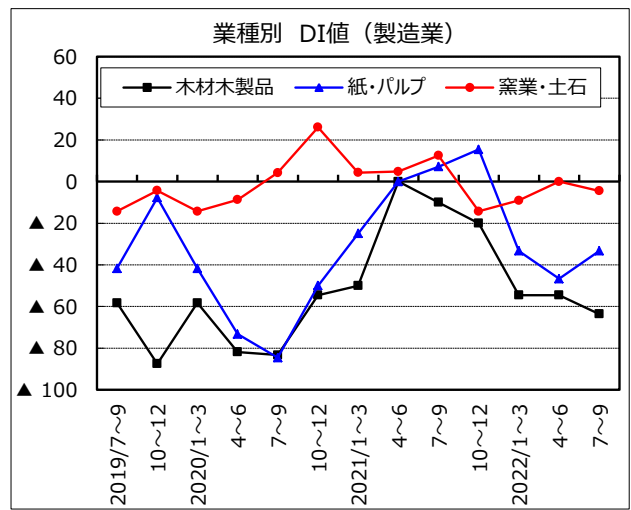
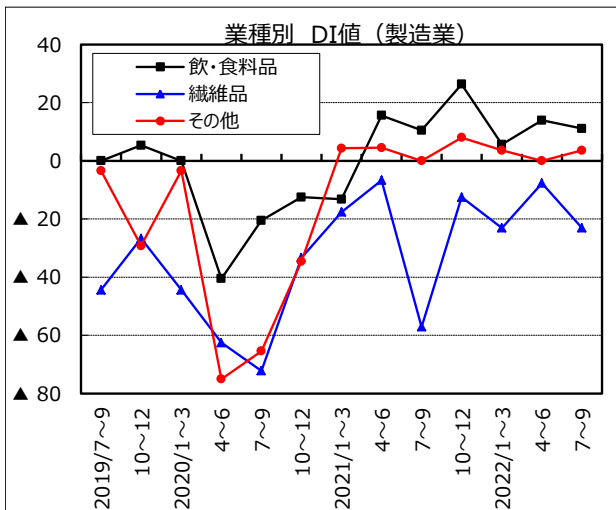
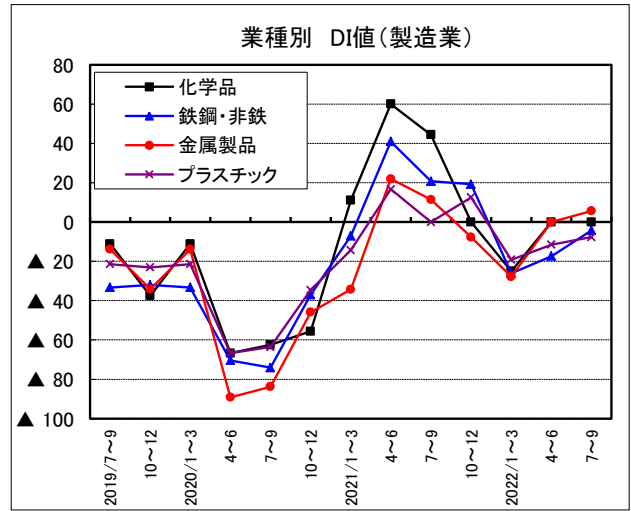
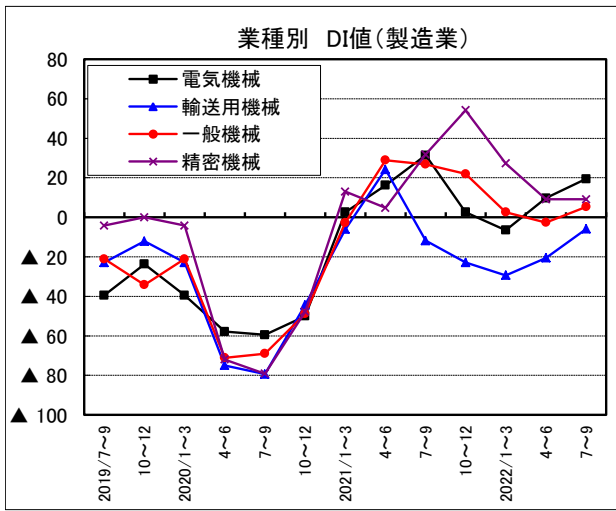
(2) 非製造業

- 資金繰りDI値をみると、今期は0と前期比2ポイント改善した。来期は▲4と今期より4ポイント悪化する見通し。
- 業種別にみると、「建設」(今期2→来期▲7)や「小売」(今期▲1→来期▲6)で資金繰りが悪化する見通し。物価上昇が企業の資金繰りに与える影響を注視する必要がある。



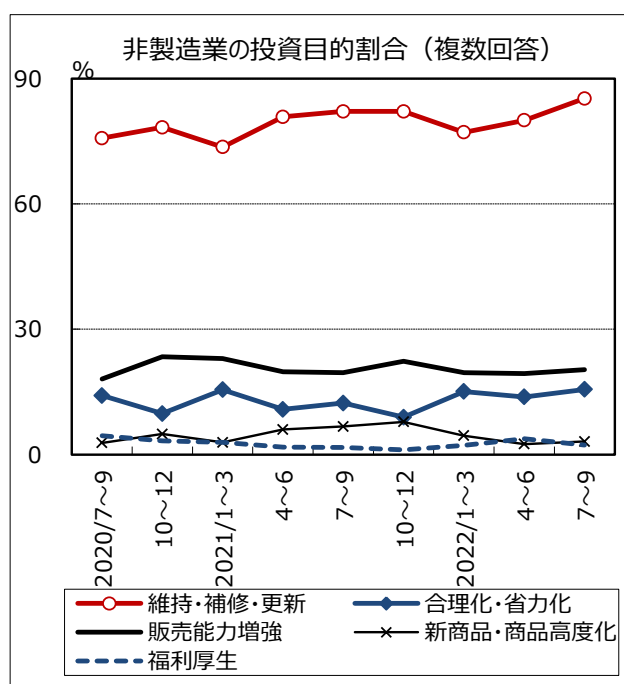
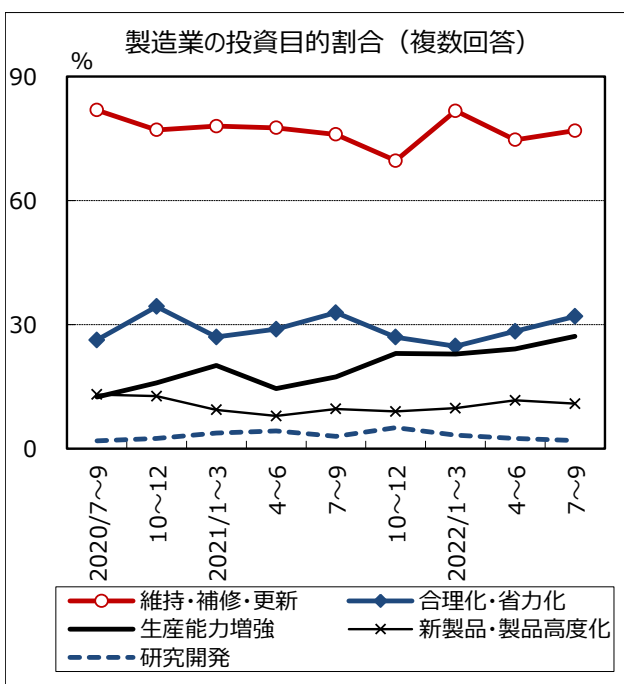
業種	今期	来期
	2022/4~6	2022/7~9
卸売	6	2
建設	2	▲7
サービス	0	0
小売	▲1	▲6
運輸	▲13	▲13

4-10 業種別の業況判断 DI 値

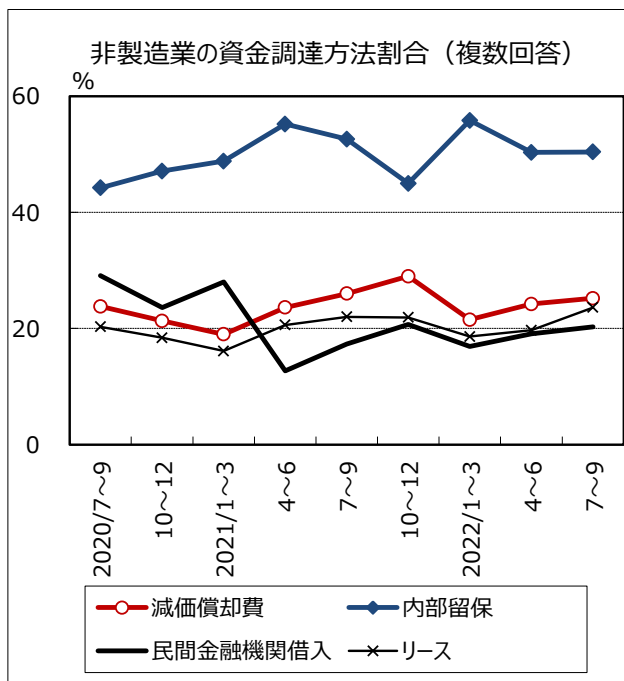
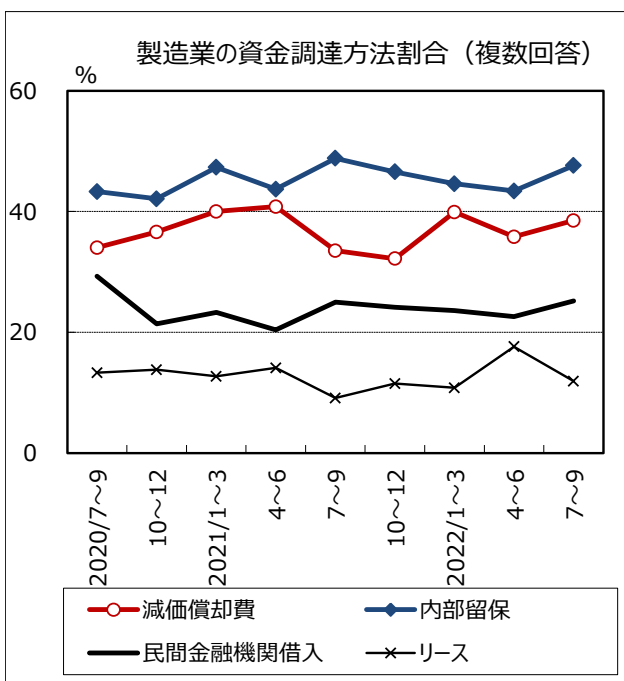


5. 資料編

■投資目的割合

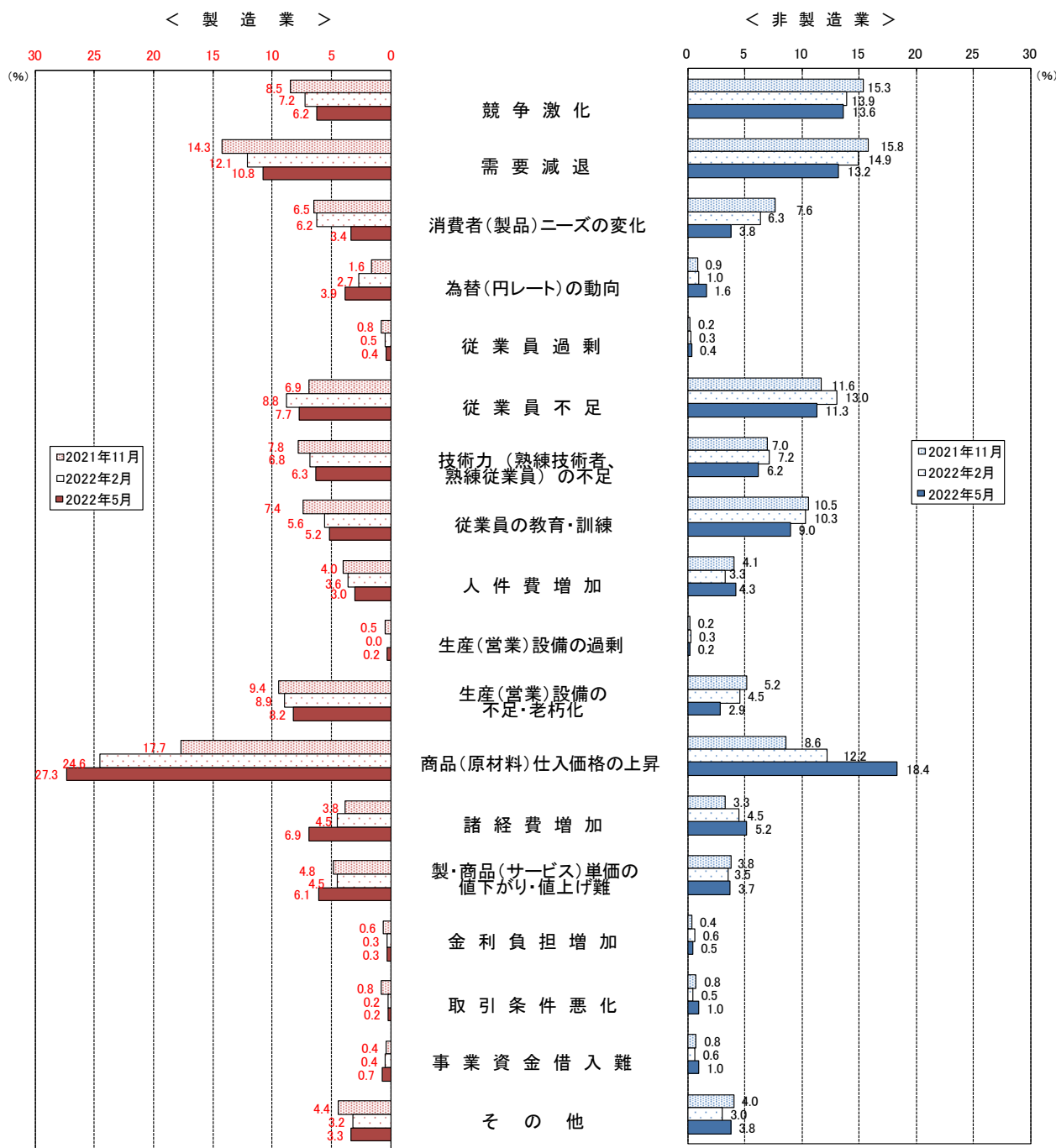


■資金調達方法



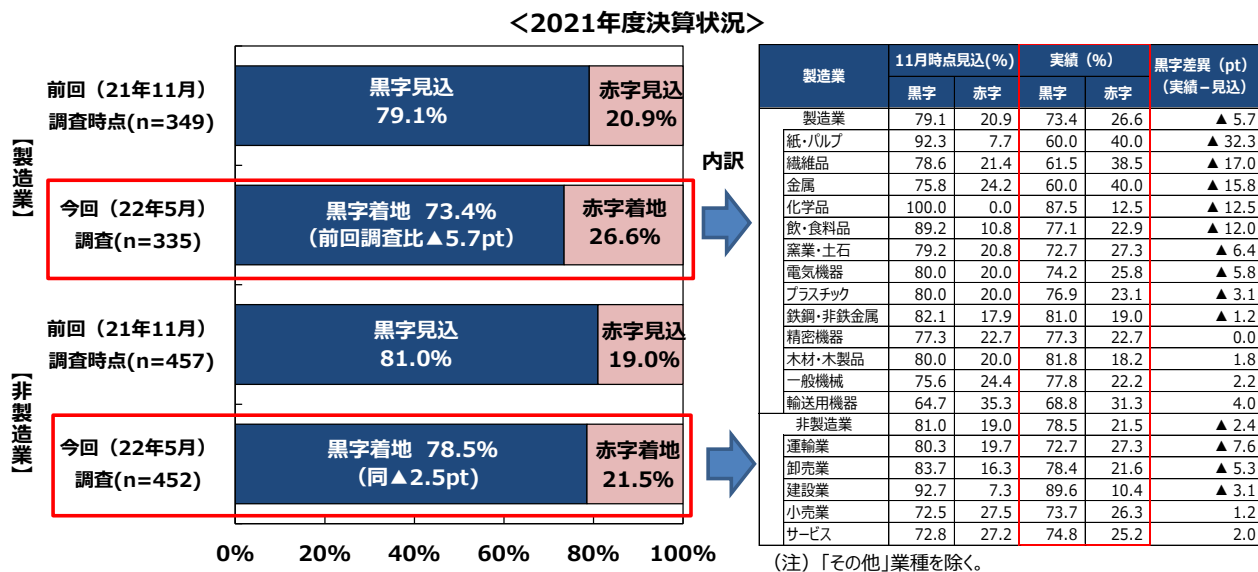
■経営上の問題点

経営上の問題点（複数回答）

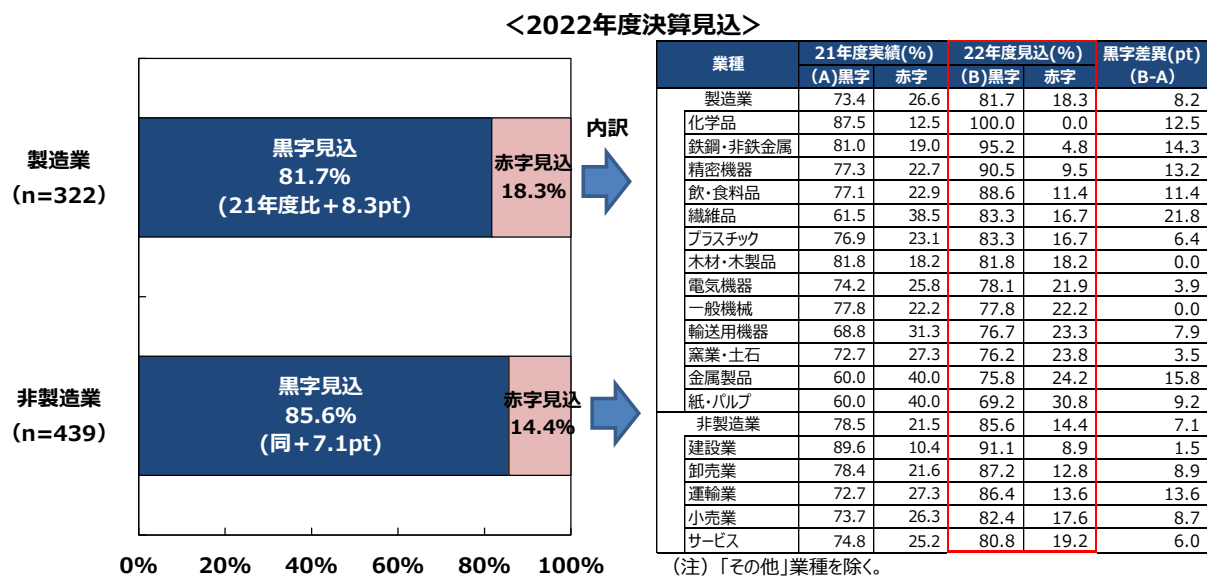


(注)この調査項目については、回答企業に経営上の問題点として重要度の高い順に3つ以内選んでもらい、1位となった問題点には3点、2位には2点、3位には1点を与え、総得点に占める比率を算出した。

■2021 年度決算状況



■2022 年度決算見込



業況判断DI値

(前年比)

年月 業種	全体			大企業			中小企業		
	前期	今期	来期	前期	今期	来期	前期	今期	来期
	実績	見込み	見通し	実績	見込み	見通し	実績	見込み	見通し
	2022/1~3	2022/4~6	2022/7~9	2022/1~3	2022/4~6	2022/7~9	2022/1~3	2022/4~6	2022/7~9
製造業	▲12	▲6	▲1	0	2	8	▲14	▲7	▲3
飲・食料品	6	14	11	43	43	29	▲3	7	7
繊維品	▲23	▲8	▲23	0	0	0	▲23	▲8	▲23
木材・木製品	▲55	▲55	▲64	▲100	0	0	▲50	▲60	▲70
紙・パルプ	▲33	▲47	▲33	▲67	▲100	▲67	▲25	▲33	▲25
化学品	▲25	0	0	100	100	0	▲43	▲14	0
プラスチック	▲19	▲12	▲8	▲25	▲25	▲25	▲18	▲9	▲5
窯業・土石	▲9	0	▲5	0	50	100	▲10	▲5	▲15
鉄鋼・非鉄	▲26	▲17	▲4	▲20	▲20	0	▲28	▲17	▲6
金属製品	▲28	0	6	▲50	0	0	▲25	0	6
一般機械	3	▲3	5	50	25	25	▲3	▲6	3
電気機械	▲7	10	19	▲67	▲67	▲67	0	18	29
輸送用機械	▲29	▲21	▲6	0	17	50	▲36	▲29	▲18
精密機械	27	9	9	14	▲14	▲14	33	20	20
その他	4	0	4	100	100	100	▲4	▲8	▲4
非製造業	▲12	▲12	▲11	▲3	▲6	▲4	▲16	▲15	▲14
建設	▲26	▲31	▲35	▲75	▲75	▲50	▲23	▲29	▲34
卸売	▲10	▲3	▲4	▲21	▲10	▲17	▲6	0	1
小売	▲21	▲22	▲23	▲15	▲17	▲15	▲37	▲37	▲47
運輸	▲19	▲15	▲12	0	8	8	▲24	▲20	▲16
サービス	8	4	11	28	12	18	▲6	▲1	6

生産・売上DI値

(前年比)

年月 業種	全体			大企業			中小企業		
	前期	今期	来期	前期	今期	来期	前期	今期	来期
	実績	見込み	見通し	実績	見込み	見通し	実績	見込み	見通し
	2022/1~3	2022/4~6	2022/7~9	2022/1~3	2022/4~6	2022/7~9	2022/1~3	2022/4~6	2022/7~9
製造業	4	8	14	10	10	29	2	8	12
飲・食料品	33	36	44	29	43	43	35	35	45
繊維品	▲15	▲8	▲25	0	0	0	▲15	▲8	▲25
木材・木製品	▲9	▲27	▲46	0	0	0	▲10	▲30	▲50
紙・パルプ	▲33	▲27	▲20	▲67	▲100	▲67	▲25	▲8	▲8
化学品	13	13	▲25	100	100	100	0	0	▲43
プラスチック	12	4	8	0	▲25	0	14	9	9
窯業・土石	▲18	0	9	0	50	50	▲20	▲5	5
鉄鋼・非鉄	▲26	▲4	17	▲20	0	40	▲28	▲6	11
金属製品	6	14	22	0	0	25	6	16	22
一般機械	13	11	29	100	50	75	3	6	24
電気機械	16	22	32	0	▲33	▲33	17	28	39
輸送用機械	▲32	▲27	▲3	▲33	17	100	▲32	▲36	▲25
精密機械	43	36	14	14	0	▲29	57	53	33
その他	14	21	21	100	100	100	8	15	15
非製造業	6	4	7	17	20	23	1	▲5	▲1
建設	▲18	▲26	▲22	▲25	▲50	▲25	▲18	▲24	▲22
卸売	20	6	9	14	14	7	23	3	10
小売	▲4	8	13	0	10	17	▲16	0	0
運輸	6	12	10	0	33	42	7	7	4
サービス	20	16	21	46	38	38	1	1	10

経常利益DI値

業種	年月	前年比増減			水準(黒字、赤字)		
		前期	今期	来期	前期	今期	来期
		実績	見込み	見通し	実績	見込み	見通し
		2022/1~3	2022/4~6	2022/7~9	2022/1~3	2022/4~6	2022/7~9
製造業		▲16	▲13	▲7	7	5	9
大企業		▲18	▲8	▲10	20	22	29
中小企業		▲16	▲14	▲7	5	2	6
飲・食料品		0	0	8	▲6	3	8
繊維品		▲39	▲23	▲15	0	8	▲31
木材・木製品		18	▲36	▲55	18	▲18	▲27
紙・パルプ		▲40	▲40	▲20	0	▲20	▲7
化学品		▲25	0	0	▲25	38	25
プラスチック		▲8	▲19	▲27	31	23	19
窯業・土石		▲36	▲18	▲32	14	▲9	0
鉄鋼・非鉄		▲4	▲13	▲17	22	9	26
金属製品		▲31	▲20	▲6	▲11	▲6	17
一般機械		▲18	▲13	3	▲3	3	11
電気機械		▲13	▲3	16	0	13	25
輸送用機械		▲35	▲24	▲18	▲9	▲3	▲6
精密機械		18	18	18	46	41	36
その他		▲11	▲11	▲4	33	4	0
非製造業		▲14	▲15	▲12	11	16	15
大企業		▲6	▲7	▲7	12	19	15
中小企業		▲18	▲18	▲15	11	15	14
建設		▲29	▲30	▲33	19	11	13
卸売		▲5	0	4	9	21	22
小売		▲19	▲18	▲18	8	19	9
運輸		▲40	▲34	▲24	3	12	13
サービス		7	▲2	0	15	16	13

仕入・販売価格DI値

業種	年月	仕入価格(前年比)			販売価格(前年比)		
		前期	今期	来期	前期	今期	来期
		実績	見込み	見通し	実績	見込み	見通し
		2022/1~3	2022/4~6	2022/7~9	2022/1~3	2022/4~6	2022/7~9
製造業		84	91	90	27	38	44
大企業		92	92	88	20	29	31
中小企業		82	91	90	28	40	46
飲・食料品		78	92	92	17	42	69
繊維品		69	85	69	46	31	31
木材・木製品		91	64	46	46	9	0
紙・パルプ		60	100	100	13	60	60
化学品		75	88	88	75	88	75
プラスチック		85	92	92	35	42	42
窯業・土石		77	91	100	23	50	68
鉄鋼・非鉄		96	96	96	57	61	65
金属製品		92	94	89	31	39	44
一般機械		90	90	87	22	22	30
電気機械		84	81	81	16	22	28
輸送用機械		82	97	97	18	29	27
精密機械		86	86	91	14	27	27
その他		86	96	96	29	50	50
非製造業		71	78	75	20	27	28
大企業		64	71	70	21	29	30
中小企業		74	81	78	20	26	27
建設		78	87	85	11	16	19
卸売		74	78	75	39	52	47
小売		58	64	64	31	37	35
運輸		94	97	92	9	21	25
サービス		57	68	65	12	13	16

製・商品在庫DI値

年月 業種	前年比増減（前年比）			適正水準比		
	前期	今期	来期	前期	今期	来期
	実績	見込み	見通し	実績	見込み	見通し
	2022/1~3	2022/4~6	2022/7~9	2022/1~3	2022/4~6	2022/7~9
製造業	7	7	6	14	9	9
大企業	8	0	6	16	8	8
中小企業	6	8	6	14	9	9
飲・食料品	▲6	0	3	0	▲11	▲3
繊維品	▲17	▲8	8	25	25	33
木材・木製品	0	18	9	46	36	27
紙・パルプ	▲7	▲7	▲20	40	33	33
化学品	13	0	0	13	13	13
プラスチック	12	12	12	31	15	4
窯業・土石	▲14	▲14	▲10	▲10	▲24	▲14
鉄鋼・非鉄	17	4	4	0	▲13	▲9
金属製品	19	22	11	17	17	14
一般機械	16	22	22	13	8	8
電気機械	13	13	10	10	16	16
輸送用機械	12	6	0	21	6	6
精密機械	0	9	23	9	18	9
その他	4	▲4	▲4	15	19	19
非製造業	2	▲5	▲3	5	1	2
大企業	▲3	▲6	▲2	▲1	▲4	▲1
中小企業	7	▲5	▲4	11	6	6
卸売	10	1	6	14	10	10
小売	▲8	▲13	▲14	▲7	▲11	▲8

設備稼働率・設備判断DI値

年月 業種	稼働率（前年比）			生産・営業設備判断（適正水準比）		
	前期	今期	来期	前期	今期	来期
	実績	見込み	見通し	実績	見込み	見通し
	2022/1~3	2022/4~6	2022/7~9	2022/1~3	2022/4~6	2022/7~9
製造業	▲1	5	13	6	2	1
大企業	10	8	22	6	▲6	▲4
中小企業	▲2	5	11	5	4	2
飲・食料品	19	22	28	0	▲11	▲14
繊維品	▲8	▲15	▲23	8	8	23
木材・木製品	▲18	▲18	▲18	9	9	0
紙・パルプ	▲14	▲14	0	27	7	7
化学品	▲13	▲25	▲13	0	0	▲25
プラスチック	0	0	4	0	8	0
窯業・土石	▲5	14	9	▲27	▲27	▲18
鉄鋼・非鉄	▲4	0	17	4	▲4	▲9
金属製品	▲11	14	11	8	14	11
一般機械	8	18	21	▲3	▲3	▲3
電気機械	3	16	29	16	3	0
輸送用機械	▲21	▲27	9	38	29	29
精密機械	23	23	27	▲5	▲9	▲9
その他	4	7	11	▲4	4	7
非製造業	0	1	4	▲1	▲3	▲2
大企業	10	11	14	▲3	▲5	▲5
中小企業	▲5	▲4	▲1	▲1	▲2	▲1
建設	▲1	▲5	▲6	▲8	▲1	▲3
卸売	4	4	7	▲5	▲4	▲1
小売	0	▲5	▲3	▲3	▲4	▲3
運輸	▲3	▲3	8	4	0	2
サービス	0	9	10	4	▲3	▲4

設備投資DI値

業 種	年 月	実施企業割合 (%)			投資額 (前年比)		
		前 期	今 期	来 期	前 期	今 期	来 期
		実 績	見込み	見通し	実 績	見込み	見通し
		2022/1~3	2022/4~6	2022/7~9	2022/1~3	2022/4~6	2022/7~9
製 造 業		60	65	59	26	34	31
大企業		91	94	91	5	12	20
中小企業		53	58	52	34	42	35
飲・食料品		76	89	88	18	23	20
繊維品		60	50	25	0	40	0
木材・木製品		13	14	25	0	0	100
紙・パルプ		67	43	70	33	▲ 33	17
化学品		86	100	60	33	33	33
プラスチック		50	58	44	11	18	14
窯業・土石		69	77	75	30	20	9
鉄鋼・非鉄		63	68	72	0	42	33
金属製品		61	58	57	12	40	39
一般機械		55	61	48	▲ 6	20	31
電気機械		48	42	50	77	36	31
輸送用機械		61	69	59	24	37	31
精密機械		75	82	81	89	54	69
そ の 他		56	74	50	40	62	33
非 製 造 業		52	49	43	41	37	34
大企業		59	56	52	40	33	33
中小企業		48	45	38	42	39	35
建 設		49	39	30	27	39	32
卸 売		51	45	36	51	50	48
小 売		48	55	46	28	21	39
運 輸		62	56	56	33	17	17
サ ー ビ ス		53	53	47	54	51	38

雇 用 人 員 DI 値

業 種	年 月	前年比増減			適正水準比		
		前 期	今 期	来 期	前 期	今 期	来 期
		実 績	見込み	見通し	実 績	見込み	見通し
		2022/1~3	2022/4~6	2022/7~9	2022/1~3	2022/4~6	2022/7~9
製 造 業		▲ 4	9	11	▲ 17	▲ 11	▲ 11
大企業		6	22	29	▲ 27	▲ 22	▲ 25
中小企業		▲ 5	6	8	▲ 15	▲ 9	▲ 9
飲・食料品		0	8	8	▲ 39	▲ 17	▲ 25
繊維品		▲ 39	▲ 15	▲ 8	▲ 39	▲ 15	▲ 23
木材・木製品		▲ 9	▲ 9	▲ 18	0	9	27
紙・パルプ		▲ 7	20	27	7	▲ 7	0
化学品		0	13	38	0	▲ 13	▲ 13
プラスチック		0	12	4	▲ 35	▲ 31	▲ 39
窯業・土石		14	18	18	▲ 46	▲ 23	▲ 18
鉄鋼・非鉄		▲ 13	▲ 4	0	▲ 26	▲ 13	▲ 22
金属製品		▲ 8	3	6	14	17	6
一般機械		▲ 8	11	5	▲ 16	▲ 18	▲ 11
電気機械		3	13	16	▲ 3	▲ 3	0
輸送用機械		▲ 6	18	15	6	▲ 3	0
精密機械		14	27	41	▲ 36	▲ 32	▲ 23
そ の 他		▲ 4	▲ 4	4	▲ 21	▲ 11	▲ 7
非 製 造 業		0	10	9	▲ 34	▲ 32	▲ 32
大企業		▲ 1	14	12	▲ 35	▲ 36	▲ 36
中小企業		0	8	7	▲ 33	▲ 30	▲ 30
建 設		▲ 2	13	4	▲ 44	▲ 36	▲ 38
卸 売		1	8	8	▲ 21	▲ 16	▲ 17
小 売		▲ 3	8	6	▲ 26	▲ 27	▲ 23
運 輸		▲ 6	2	6	▲ 52	▲ 53	▲ 54
サ ー ビ ス		4	17	16	▲ 32	▲ 34	▲ 34

人 件 費 D I 値

(前年比)

年 月 業 種	全体			大企業			中小企業		
	前 期	今 期	来 期	前 期	今 期	来 期	前 期	今 期	来 期
	実 績	見込み	見通し	実 績	見込み	見通し	実 績	見込み	見通し
	2022/1~3	2022/4~6	2022/7~9	2022/1~3	2022/4~6	2022/7~9	2022/1~3	2022/4~6	2022/7~9
製 造 業	36	50	49	27	42	42	38	52	50
飲・食料品	41	59	56	29	43	43	44	63	59
織 維 品	23	31	31	0	0	0	23	31	31
木材・木製品	46	55	55	0	100	100	50	50	50
紙・パルプ	0	40	40	▲ 33	▲ 33	▲ 33	8	58	58
化 学 品	38	50	63	0	100	100	43	43	57
プラスチック	54	50	65	50	50	50	55	50	68
窯業・土石	36	64	46	50	100	100	35	60	40
鉄鋼・非鉄	30	35	39	0	0	20	39	44	44
金属製品	31	44	36	0	25	25	34	47	38
一般機械	55	66	61	75	100	75	53	62	59
電気機械	47	63	59	33	0	0	48	69	66
輸送用機械	18	39	33	20	40	40	18	39	32
精密機械	55	64	68	43	57	57	60	67	73
そ の 他	18	29	36	50	50	50	15	27	35
非 製 造 業	39	48	45	41	54	51	38	45	42
建 設	40	48	46	25	25	25	41	49	47
卸 売	34	39	35	38	52	41	32	33	32
小 売	36	49	47	39	53	51	26	37	37
運 輸	43	51	51	36	64	73	45	48	46
サ ー ビ ス	43	52	49	47	56	55	39	49	45

資 金 繰 り D I 値

(前年比)

年 月 業 種	全体			大企業			中小企業		
	前 期	今 期	来 期	前 期	今 期	来 期	前 期	今 期	来 期
	実 績	見込み	見通し	実 績	見込み	見通し	実 績	見込み	見通し
	2022/1~3	2022/4~6	2022/7~9	2022/1~3	2022/4~6	2022/7~9	2022/1~3	2022/4~6	2022/7~9
製 造 業	▲ 6	▲ 4	▲ 2	4	2	6	▲ 8	▲ 5	▲ 3
飲・食料品	0	14	11	14	43	29	▲ 3	7	7
織 維 品	0	8	▲ 8	0	0	0	0	8	▲ 8
木材・木製品	▲ 27	▲ 46	▲ 36	0	0	0	▲ 30	▲ 50	▲ 40
紙・パルプ	0	▲ 13	7	0	0	0	0	▲ 17	8
化 学 品	0	13	13	0	0	0	0	14	14
プラスチック	0	4	4	0	0	0	0	5	5
窯業・土石	▲ 18	▲ 5	▲ 18	0	0	0	▲ 20	▲ 5	▲ 20
鉄鋼・非鉄	▲ 17	▲ 17	▲ 13	▲ 40	▲ 40	40	▲ 11	▲ 11	▲ 28
金属製品	▲ 6	▲ 3	6	25	25	25	▲ 10	▲ 7	3
一般機械	▲ 13	▲ 16	0	25	0	0	▲ 18	▲ 18	0
電気機械	6	19	16	0	0	0	7	21	17
輸送用機械	▲ 12	▲ 27	▲ 27	33	0	0	▲ 21	▲ 32	▲ 32
精密機械	9	14	14	▲ 14	0	▲ 14	20	21	27
そ の 他	▲ 7	▲ 11	▲ 11	0	▲ 50	▲ 50	▲ 8	▲ 8	▲ 8
非 製 造 業	▲ 2	0	▲ 4	5	4	2	▲ 5	▲ 3	▲ 7
建 設	▲ 1	2	▲ 7	0	0	0	▲ 1	2	▲ 8
卸 売	6	6	2	7	14	7	6	3	0
小 売	▲ 3	▲ 1	▲ 6	2	0	▲ 3	▲ 16	▲ 5	▲ 16
運 輸	▲ 16	▲ 13	▲ 13	8	17	8	▲ 22	▲ 20	▲ 18
サ ー ビ ス	0	0	0	6	0	4	▲ 4	0	▲ 3